

7月の農薬

No. 4 - 1

平成26年7月1日

安全安心な農作物を生産していくために、農薬の使用法を守るとともにこれまで以上に飛散防止に努めましょう。

水稲

葉いもち：夜温が高く曇天・降雨が続く場合は注意が必要です。

早期発見に努め、発生の初期に防除しましょう。

穂いもち：出穂前後の防除が重要です。

斑点米カメムシ類：県の予察情報に留意しご指導ください。

(倒伏軽減剤)

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な使用目的	使用方法、使用量
7月上旬 下旬	スマレクト粒剤	3kg	-	倒伏軽減	10a当り2~3kg。 出穂7~20日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ロミカ粒剤	3kg	-	倒伏軽減	10a当り2~3kg。 出穂25~10日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ビビフルフロアブル	100ml	-	倒伏軽減	10a当り薬量100ml・水量150ℓ、出穂10~2日前均一に茎葉散布する。
	ビビフル粉剤DL	3kg	-	倒伏軽減	10a当り3~4kg。 出穂10~5日前に茎葉部均一にかかるように散布する。 降雨直後・降雨が予想される場合は散布を控える。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用量		
7月上旬	トレボン乳剤	500ml	-	(イナゴ類)	2,000倍を散布する。なお、薬剤は畦畔等も含めて散布する。また、散布前に畦畔の草刈りを実施すると効果が高まる。		
7月上旬 下旬	ダブルカット粉剤DL	3kg	-	葉いもち 6月中旬 下旬 穂いもち (第1回) 7月下旬 8月上旬	10a当り 粉剤3kg 液剤 乳剤 ゾル (フロアブル) 1,000倍(100ml/100ℓ) 120ℓ/10aを散布する。 ノンプラスおよびブラシンは発病後も効果が大きく8月上旬頃まで使用できる。		
	ビーム粉剤DL		-				
	ラブサイド粉剤DL		-				
	ノンプラス粉剤DL	-					
	ブラシン粉剤DL	-					
	ブラシンフロアブル	500ml	-				
	ノンプラスフロアブル		-				
	ラブサイドフロアブル		-				
	ダブルカットフロアブル		-				
ビームゾル	-	○					
7月中旬	フジワン粒剤	3kg	-	穂いもち	出穂10~30日前。10a当り3~5kg。		
	コラトップ粒剤5		-		出穂5~30日前。10a当り3~4kg。		
7月下旬	モンカット粒剤 リンバー粒剤 モンガリット粒剤	3kg	-	紋枯病	出穂20日前に10a当り4kg湛水して散布する。使用時期を遅れないようにする。		
	モンカットファイン粉剤20DL				3kg	-	10a当り4kg散布する。
	モンセレン粉剤DL					-	
	バリダシン粉剤DL	500ml	-		1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。		
	パシタックゾル		-				
	モンカットフロアブル		-				
	バリダシン液剤5		-				
モンセレンフロアブル	-	1,500倍(67ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。					

※稲こじ病は、出穂の10~14日前を目安にモンガリット、アミスターエイト、ブラシン等を散布する。

※カスミンおよびカスラブサイド・ダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」に変更となっておりますので、穂揃期以降に使用させない様、注意して指導をお願いいたします。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用量
7月中旬 下旬	アミスターエイト	500ml	-	いもち病 紋枯病	1,000~1,500倍で散布する。 稲こじ病にも登録あり。
	ダブルカットバリダ粉剤DL	3kg	-		10a当り3~4kg散布する。
	フジワンモンカット粒剤		-		出穂30~10日前に3~4kg/10aを散布する。
7月下旬	ラブサイドベフラン粉剤DL	3kg	-	いもち病 稲こじ病	穂孕み期~穂揃期に3~4kg/10aを散布する。
	スミチオン乳剤	500ml	-	イネアオムシ (フタオビコヤガ)	葉先がカスリ状になった被害初期に2,000倍液を120ℓ/10a散布する。
	トレボン乳剤 トレボンEW		-		1,000倍液を120ℓ/10a散布する。 イナゴ類の適用あり。
	スミチオン粉剤3DL	3kg	-	ウンカ類 カメムシ類 (ニカメイチュウ) (イネアオムシ)	10a当り3~4kg散布する。
	トレボン粉剤DL		-		10a当り3~4kg散布する。 イナゴ類の適用あり。
	スタークル豆つぶ	250g	-	ウンカ類 カメムシ類 (ツマダクロヨコバイ)	250g/10a 省力化剤 水深を3~5cm程度に保ち出穂期を目安に処理する。
	キラップ粒剤	3kg	-	いもち病 紋枯病 ウンカ類 カメムシ類	出穂期~出穂10日前を目安に10a当り3kgを散布する。
イモチエースキラップ粒剤	-				

水稲除草剤

○成長したホタルイの残草にはバサグラン液剤をご指導ください。

(粒剤では、効果が劣る場合があります。)

○ノビエの残草もある場合は、クリンチャーバスME液剤をご指導ください。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象雑草	使用方法、使用量
7月上旬	バサグラン粒剤 バサグラン液剤	3kg 500ml	-	ミズガヤツリ ホタルイ ウリカ ヘラオモダ クログワイ 広葉雑草	前日落水して散布し、散布後3~4日間は入水しない。 バサグラン粒剤 3~4kg/10a バサグラン液剤は500~700mlを水70~100ℓ/10aに溶かし散布する。 高温時はバサグラン液剤で葉先に葉害が出やすいので注意する。
	クリンチャーEW	100ml	-	ノビエ (5.0葉期未満)	茎葉処理剤なので、浅水にし、散布する。100ml/10aの薬量を100ℓ/10aの水量に希釈する。
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	-	ノビエ (4.0葉期未満)	1kg/10aノビエ4葉期まで
	ヒエクッパ1キロ粒剤		-		1.5kg/10aノビエ5葉期まで
	ヒエクリーン豆つぶ	250g	-	ノビエ (4.0葉期未満)	250g/10a 省力処理剤ノビエ4葉期7月5頃までを目処に使用する。
	クリンチャーバスME液剤	500ml	-		クリンチャーバスME液剤は、100ℓ/10aの水に1,000mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後3~4日間は入水しない。
	ワイドアタックSC	100ml	-		100ℓ/10aの水に100mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後2~3日間は入水しない。
	フォローアップ1キロ粒剤	1kg	-	ノビエ (5.0葉期未満) 水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ	1kg/10a 雑草の葉齢が進んでいる場合は他剤(バサグラン・ワイドパワー等)で防除を行う。
	ワイドパワー粒剤	3kg	-		砂壌土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水してから散布し2~3日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。 ※ワイドパワー粒剤は「ワイドアタック」と「バサグラン」の混合剤になるので広葉雑草への効果◎
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	3kg	-		

- ・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
- ・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

023-634-8157

023-634-8182

農薬はJAマークの製品を!

先入れ先出しの励行を!

7月の農薬

No. 4 - 2

平成26年7月1日

この資料は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

りんご

○7月下旬～9月中旬まで、カメムシ類の発生に注意し、防除間隔を開けないように指導をお願いします。
○降雨が続く場合は輪紋病の多発に要注意。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考	
7月上旬	有機リン剤 有機殺菌剤 ICボルドー412	5kg 10kg	-	ハモシクイシガ モシンクイシガ 斑点落葉病 黒すすす すすす 点斑 紋	有機リン剤の項参照下さい。 有機殺菌剤の項参照下さい。	20倍 5kg	700ℓ 35kg	いずれか
	オキシラン水和剤	500g 1kg 1.67kg	-	黒すすす すすす 点斑	600倍 167g	700ℓ 1.167kg	有機銅 キヤブ タン剤	
	オキシンドー水和剤80	500g	-	黒すすす すすす 点斑	1,200倍 83g	700ℓ 583g	有機銅剤	
※有機殺菌剤 ※有機リン剤	サイアノックス水和剤	500g 1kg	-	シンクイムシ類 ハモシクイシガ (キンモンホソガ)	1,000倍 100g	700ℓ 700g	いずれか	
	ダーズパンDF	167g	○	シンクイムシ類 ハモシクイシガ (キンモンホソガ)	3,000倍 33g	700ℓ 233g		
	スプラサイド水和剤	500g	○	シンクイムシ類 ハモシクイシガ (キンモンホソガ)	1,500倍 67g	700ℓ 467g		
(注)・この時期キンモンホソガの発生が多い場合は有機リン剤に代えてノーマルト乳剤4,000倍または、モスピラン顆粒水溶剤2,000倍を加用する。(ボルドー液との混用可) 蚕毒注意。 ・農薬の混用については、混用事例参照すること。								
7月中旬	有機殺菌剤 ICボルドー412	5kg 10kg	-	斑点落葉病 黒すすす すすす 点斑 紋	※有機殺菌剤の項参照ください	20倍 5kg	700ℓ 35kg	いずれか
	有機リン剤 ノーマルト乳剤 殺ダニ剤 クレフノン	500ml	-	モモシクイガシ ハモシクイガシ キンモンホソガ	※有機リン剤の項参照下さい。 IGR剤			
7月下旬	テルスターフロアブル	100ml	○	シンクイムシ類 (モモシクイガシ キンモンホソガ)	3,000倍 33ml	700ℓ 233ml	いずれかを散布。 ボルドー液とは混用・接近散布はしない。	
	スタークル顆粒水溶剤	250g	-	シンクイムシ類 (モモシクイガシ キンモンホソガ)	2,000倍 50g	700ℓ 350g		
	フェニックスフロアブル	250ml	-	シンクイムシ類 (カメムシ)	4,000倍 25ml	700ℓ 175ml		
	サムコルフロアブル10	200ml	-	シンクイムシ類 (カメムシ)	5,000倍 20ml	700ℓ 140ml		
	加用有機殺菌剤	500g	-	斑点落葉病 黒すすす すすす 点斑 紋	※有機殺菌剤の項参照下さい。 尚、輪紋病の多い園ではオキシラン又は有機銅剤を使用する。	2,000倍 50g		700ℓ 350g
ナリアWDG	250g	-	ハダニ類	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	いずれか		
マイトコーネフロアブル	500ml	-	ハダニ類	2,000倍 50g	700ℓ 350g			

おうとう

○ハダニの発生が多くなる前に、早めに防除しましょう。
○収穫後の散布は収穫終了次第早急に実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	テルスターフロアブル	100ml	○	シヨウジョウバエ類 ハダニ	4,000倍 25ml	450ℓ 113ml	単用で散布する。
7月中旬 (収穫直後)	オキシラン水和剤	500g	-	せん孔病	600倍 167ml	700ℓ 1,167ml	混用剤と 二剤
	トレノックスフロアブル	1L	-	褐色せん孔病	500倍 200ml	700ℓ 1,400ml	いずれか
	マイトコーネフロアブル	500ml	-	ハダニ類	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	単用散布 いずれか
7月下旬	ICボルドー66D	5kg	-	せん孔病	40倍 2.5kg	700ℓ 17.5kg	

西洋なし

輪紋病、胴枯病の重点防除時期なので、降雨前後の防除指導をお願いします。
7月下旬以降、ハダニの発生が見られたら、コロマイト水和剤を単剤で散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	オキシラン水和剤	500g 1.67kg	-	輪紋病	600倍 167g	450ℓ 750g	混用散布 クレフノン 加用
	オキシンドー水和剤80	500g	-	輪紋病	1,200倍 83g	450ℓ 375g	
7月中旬	ダーズパンDF	167g	○	シンクイムシ類 ハモシクイシガ	3,000倍 33g	450ℓ 150g	いずれか
	4-12式ボルドー(ICボルドー412)	硫酸銅 生石灰	○	輪紋病 胴枯病	硫酸銅 400g	450ℓ 1.8kg	
	テルスターフロアブル	100ml	○	シンクイムシ類	3,000倍 33ml	450ℓ 150ml	
	ダイアジノン水和剤34	500g 1kg	○	アブラムシ類 ハモシクイシガ	1,000倍 100g	450ℓ 450g	
	サイアノックス水和剤	500g 1kg	-	シンクイムシ類 (カメムシ)	1,000倍 100g	450ℓ 450g	
7月下旬	ダーズパンDF	167g	○	シンクイムシ類 ハモシクイシガ	3,000倍 33g	450ℓ 150g	いずれか
	マイトコーネフロアブル	500ml	-	ハダニ類	1,000倍 100ml	400ℓ 200g	
	コロマイト水和剤	500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	400ℓ 200g	
	4-12式ボルドー液(ICボルドー412)	硫酸銅 生石灰	○	輪紋病 胴枯病	硫酸銅 400g	600ℓ 2.4kg	
※殺虫剤については、7月上・中旬の剤より選択のうえ、防除を行う。							

ぶどう

収穫期近くになったら果実の汚染、果粉溶脱に注意して防除してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	オーソサイド水和剤80	500g	-	晩(さ)べ褐 腐びと斑 病	800倍 125g	250ℓ 312g	いづれか べと病の多発する園では7月上・下旬散布(クレフノン加用)
	コサイド3000	500g	-	腐びと斑 病	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	加用クレフノン	10kg 12kg	-	腐びと斑 病	100倍 1kg	250ℓ 2.5kg	
7月中旬	アマスター10フロアブル	500ml	-	べ晩褐 と腐斑 病	1,000倍 100ml	250ℓ 250ml	同一系統のため連用しない。
	ストロビードライフロアブル	250g 500g	-	べ晩褐 と腐斑 病	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	コロマイト水和剤	100g 500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
7月下旬	アーデント水和剤	100g 500g	-	アザミウマ類 フタテンヒメコバ	1,000倍 100g	250ℓ 250g	発生が多い場合単用散布する。
	ストロビードライフロアブル	250g 500g	-	褐斑病・べと病 晩腐病・(さび病)	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	アマスター10フロアブル	500ml	-	褐斑病・べと病 晩腐病・(さび病)	1,000倍 100ml	250ℓ 250ml	
7月中旬	モスピラン顆粒水溶剤	250g	○	アザミウマ類 フタテンヒメコバ	2,000倍 50g	250ℓ 125g	同一系統のため連用しない。
	オーソサイド水和剤80	500g	-	褐斑病・べと病 晩腐病・さび病	800倍 125g	250ℓ 312g	
	コロマイト水和剤	100g 500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
7月下旬	アーデント水和剤	100g 500g	-	アザミウマ類	1,000倍 100g	250ℓ 250g	発生が多い場合単用散布する。
	ランマンフロアブル	100ml 500ml	-	べと病	2,000倍 50ml	250ℓ 125ml	
	ライメイフロアブル	100ml 500ml	-	べと病	4,000倍 25ml	250ml 63ml	
ICボルドー48Q	5kg	-		50倍 2kg	250ℓ 5kg	袋かけ直後いづれかを散布	

※ストロビードライフロアブルは単用散布する。アーデント水和剤とオーソサイド水和剤80の混用はしない(薬害)。

もも

○乾燥した日が続いているので、ハダニ類や害虫の発生に留意してください。
○高温多湿が続いたら灰星病の防除を実施する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考	
7月上旬	※有機リン剤加用			アブラムシ シンクイムシ モモハモグリガ	有機リン剤の項参照。			
	ベルコート水和剤	500g	-	黒灰 星 病	2,000倍 50g	400ℓ 200g		
7月中旬	展着剤		-					
	有機リン剤				有機リン剤の項参照。			
	ダコレート水和剤	100g 500g	-	灰 星 病	1,000倍 100g	400ℓ 400g	いづれか 加用散布	
7月下旬	ナリアWDG	250g	-	ホモブシス腐敗病	2,000倍 50g	400ℓ 200g	いづれか 加用散布	
	展着剤		-					
	※殺ダニ剤加用			ハダニ	殺ダニの項参照。			
7月下旬	スカウトフロアブル	500ml	○	モモハモグリガ シンクイムシ類	2,000倍 50ml	400ℓ 200ml	いづれか 加用散布	
	アーデント水和剤	500g	○	モモハモグリガ シンクイムシ類	1,000倍 100g	400ℓ 400g		
	ダコニール1000	500ml	-	灰 星 病	1,000倍 100ml	400ℓ 400ml		
	オーシャイン水和剤	500g	-	黒 星 病	2,000倍 50g	400ℓ 200g		
	※殺虫剤							
7月下旬	ダイアジノン水和剤34	500g	○	シンクイムシ類	1,000倍 100g	400ℓ 400g	スミチオン水、ダイアジノン水、スプラサイド水和剤とダコレックス水の混用で薬害の恐れがある。	
	サイアノックス水和剤	500g	-	シンクイムシ類 (モモハモグリガ)	3,000倍 33g	400ℓ 133g		
	ダーズパンDF	167g	○	シンクイムシ類 (カイガラムシ)	2,000倍 50g	400ℓ 200g		
	スプラサイド水和剤	500g	○	シンクイムシ類 (カイガラムシ)	2,000倍 50g	400ℓ 200g		
※※7月のもも殺ダニ剤 詳細は果樹殺ダニ剤適用表参照。								
7月下旬	薬剤名	規格	譲渡書	リンゴ ハダニ	ナミ ミ		ボルドーとの混	
	コロマイト乳剤	500ml	-	◎	◎	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	マイトコーネフロアブル	500ml	-	○~△	◎	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	

かき

7月中のボルドー液の散布は黄変落葉を助長するので、樹勢の弱い園地や曇雨天の続く場合は使用しない。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月中旬	ベルコート水和剤	500g	-	落葉 うどんこ 病	1,000倍 100g	500ℓ 500g	いづれか
	オキシンドー水和剤80	500g	-	うどんこ 点 病	1,000倍 100g	500ℓ 500g	
7月下旬	ジェイエース水溶剤	500g	-	アザミウマ類 (コナカイガラムシ)	1,000倍 100g	500ℓ 500g	いづれか
	ダントツ水溶剤	125g 250g	-	アザミウマ類 (カメムシ)	4,000倍 25g	500ℓ 125g	
	スプラサイド水和剤	500g 667g	○	チャノキアザミウマ カメムシ類 (コナカイガラムシ)	1,500倍 67g	500ℓ 333g	
展着剤		-					